

【議会報告会】

○ふるさと納税の返礼品について、どういったものを考えていくのか。

⇒議員 今後も本市の地場産品を返礼品としていく方針である。また、消費できる物の方が毎年の寄附につながるのではないかという意見も踏まえ、ふるさと納税・シティプロモーション戦略プロデューサーと商品開発を行うとのことである。

○以前富田小学校で煙体験に参加したが、児童生徒ばかりで一般の参加が少なかった。今後煙体験を行う際は多くの人に参加できるように周知してほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○マイナンバーカードを活用した各種手続きのオンライン化について、費用対効果はあるのか。

⇒議員 各種申請について、10枚近く書類に住所等を記載するものもあり、特に高齢者には負担となっている。これをデジタル化することで、市民、行政双方の時間短縮につながり、市職員もその分の時間を他の業務に使える。今後オンライン化が進む中で、本当にメリットが生まれているか等については確認していきたい。

○市では防災倉庫に災害時の物資を備蓄しているが、本当に市民に届くのか。

⇒議員 災害時は道路の損傷等も想定されることから、例えば拠点防災倉庫から思うように物資を輸送できない可能性があるため、まずは個人備蓄、また、各自治会の備蓄を活用してほしい。自分の命は自分で守る自助、周りで助け合う共助の意識を持ってもらいたい。

○行政手続きのオンライン化というが、不慣れな方への対応はどうするのか。

⇒議員 デジタルデバイド対策に係る予算も計上しており、デジタル機器に不慣れな方をしっかりサポートしていきたい。

○予備費は何に使われるのか。

⇒議員 近年では大半が新型コロナ対策に使われている。コロナ禍以前は主に災害対策に充てられていた。

### 【シティ・ミーティング】

《テーマ：防災について》

○災害時におけるドローン等の活用は検討しているのか。

⇒議員 ドローンについては、本市の消防本部において、火災現場の状況把握等の情報収集手段として配備している。今後は災害時の救助活動への活用も検討していく必要があると考えている。

○災害時協力井戸の登録は進んでいるのか。

⇒議員 各地区において登録は進んでいる。平常時は飲用できても大地震等で地中内の水の流れが変わる等の可能性があることから、四日市市災害時協力井戸登録要綱に基づき、災害時は生活用水として活用させていただくこととなる。

○家族防災手帳は市民に配布されているのか。

⇒議員 大人版は全戸配布、こども版は市内公私の小学校4年生から6年生に配布しており、令和5年度にリニューアルを予定している。リニューアル後も内容を更新していくことを踏まえ、電子版としてホームページ等で公開するか、紙で配付するか検討しているとのことである。

○家族防災手帳について、高齢者はスマートフォンやPCで見てほしいと言われても難しいので、高齢者が多いところには紙での配布をお願いしたい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○地震の際に地滑り等が起こらないか心配である。安全そうに見える所が本当に安全なのか、市民に安心してもらうためにはどうすべきかという点について行政とも議論してもらいたい。

⇒議員 例えば危険箇所を公表することに難色を示す方もいるので、どのように伝えて

いくかという部分は慎重に検討する必要がある。